

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県社会福祉総合センター		
所在地	高松市番町一丁目10番35号	供用開始年度	平成9年度
施設の種類	健康福祉施設	施設設置根拠	香川県社会福祉総合センター条例
設置目的	社会福祉に関する活動の振興を図り、もって県民の福祉の増進に資する。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（（公財）かがわ健康福祉機構）		
整備事業費	9,799,848千円	施設の概要	
県債	9,322,000千円	【施設】 鉄筋鉄骨コンクリート造 地上7階、地下3階、塔屋1階 敷地面積 2,452.87㎡、延床面積13,290.82㎡ 建設手法 香川県、（福）香川県社会福祉協議会、（財）香川県婦人教育協会、 （財）香川県自治協会、日本赤十字社及び四国電力㈱の合築方式	
一般財源	442,689千円		
その他	35,159千円		
利用料金	利用料	【職員の状況】 常勤の役員数 理事長1名、専務理事1名 職員数 財団職員1名、嘱託職員6名、事務職員6名 計13名	
貸室使用料(全日の場合)冷暖房使用料別途	2,220円～59,380円	職員数 財団職員1名、嘱託職員6名、事務職員6名 計13名	
健康プレイルーム個人使用料①、駐車場使用料(1台につき25分あたり)②	①200円 ②100円	注1) 整備事業費には、合築方式による県以外の各団体の負担額は含まない。 注2) 職員数は、（公財）かがわ健康福祉機構の職員のうち、香川県社会福祉総合センターの 管理運営業務に従事する職員数を計上。 注3) 貸室使用料、健康プレイルーム個人使用料、駐車場使用料には、減免の制度がある。	
ボランティア・男女共同参画交流室、福祉ライブラリー、福祉用具展示場「なんでも館」、健康福祉情報システム(専用端末、インターネット等)による健康福祉情報提供サービス)	無料		

行政コスト計算書

【行政コスト】 平成 30 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	53,732	17.8%	56,634	△ 2,902
退職給与引当金繰入等				
小計	53,732	17.8%	56,634	△ 2,902
物にかかるコスト				
物件費	99,981	33.1%	101,812	△ 1,831
維持補修費	10,399	3.4%	14,783	△ 4,384
減価償却費	132,360	43.9%	132,360	
その他	4,349	1.4%	4,582	△ 233
小計	247,089	81.8%	253,537	△ 6,448
その他のコスト				
公債費(利子のみ)	1,121	0.4%	8,407	△ 7,286
その他				
小計	1,121	0.4%	8,407	△ 7,286
行政コスト合計 ①	301,942	100.0%	318,578	△ 16,636

● 県債残高(H31.3.31現在)

950,331 千円

● 利用の状況

(年間利用者数)

H28	192,679人
H29	202,140人
H30	205,559人

(貸室の月平均利用件数)

H28	385.5 件/月
H29	383.6 件/月
H30	399.2 件/月

● コスト指標

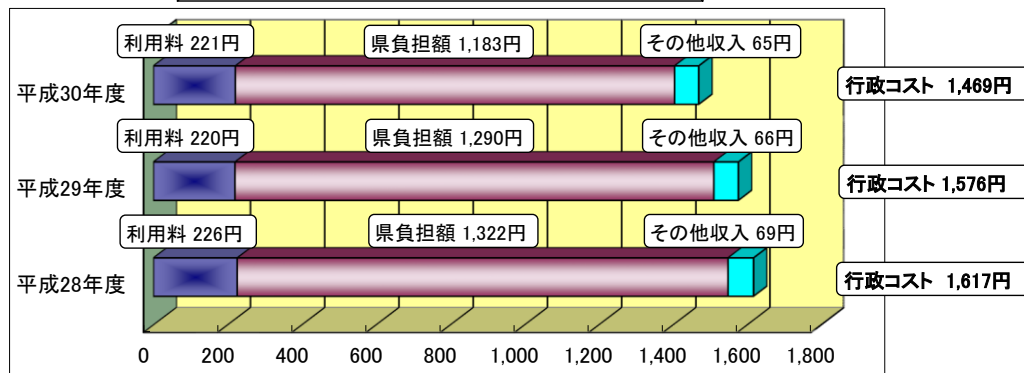
(利用者1人当たりにかかるコスト)

H28	1,617円
H29	1,576円
H30	1,469円

【収入項目】

項目	金額	割合	前年度	増減
利用料	45,387	15.0%	44,525	862
国庫支出金				
その他	13,299	4.4%	13,318	△ 19
計 ②	58,686	19.4%	57,843	843
県単独負担額 ①-②	243,256	80.6%	260,735	△ 17,479

利用者1人当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

- ・6F調理実習室の照明をLEDに交換し、環境エコ対策及び電力使用の節約を図った。(平成30年8月)
- ・コミュニティホール客席側の天井照明を交換し、利便性の向上を図った。(平成30年10月)
- ・研修室にプロジェクターを常設し、利便性の向上を図った。(平成30年10月)
- ・6F、7F廊下の長椅子座面の張替を行い環境及び利便性の向上を図った。(平成30年11月)
- ・6F女子トイレ1箇所を和式から洋式に変更し、利便性の向上を図った。(平成30年12月)
- ・1Fソファコーナーが暗いため照明を設置し、利便性の向上を図った。(平成31年1月)
- ・年間を通し各階通路照明の消灯、また、事務所内の冷暖房について、こまめな運転を行い環境エコ対策及び電力使用の節約を図った。